

環境学習みえ

2009年10月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／内山 裕紀子さん（くまの体験企画）2009 No.38

秋

熊野古道エコツアー

特集

- こどもエコクラブ
- センターニュース
- ・今月の企画展示
- ・講座のご案内ほか



自然環境を守り、そこに住む **人** たちの **心** を感じる **旅**

熊野古道 エコツアー

熊野古道 馬越峠

まごせとつげ

熊野古道伊勢路の中でもっとも美しい石畳が続く馬越峠。紀北町と尾鷲市の境界にある峠で、道の駅海山〜JR尾鷲駅までの約5kmのコース

熊野古道は

「紀伊山地の霊場と参詣道」として

平成16年7月、日本で初めて遺産全体が文化遺産の「文化的景観」として登録された世界文化遺産です。「文化的景観」とは、人が長い時間をかけて自然に働きかけて作り出した景観のことで、まさに“自然と人間との共同作品”ということができます。

※世界遺産には文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があります。

歴史あるこの熊野古道には、現代においてもいくつかの「人と自然のつながり」が存在しています。そこにある素晴らしい環境に触れることができるエコツアーに出かけてみましょう！

インタープリターと歩く

熊野古道ガイド
(インタープリター)

くまの体験企画

内山 裕紀子 さん

尾鷲市出身。体力作りをかねて熊野古道の馬越峠をウォーキングすることがきっかけになり、熊野古道ガイドとして活動を始める。熊野古道語り部友の会に所属し、2008年には現地エコツアーのガイドサービス「くまの体験企画」を立ち上げた。



馬越峠Map



馬越峠に残された美しい景観。

石畳にこめられた人の想い

この石畳が造られたのはおよそ 300 年前。この石畳の古道は今でいうアスファルトの舗装道路のようなもので自然の石を敷きつめてあります。これは尾鷲という雨の多い地域だからこそ昔の人の知恵です。石畳にすることで雨は石を伝って流れていき、水ハケがよくなります。

昔の人が大変な思いをして重厚な道をつくってくれたおかげで、簡単に崩れることもなく、今でもこのように丈夫で立派に残っているのです。

長く敷かれた馬越峠の石畳に使われている石は、近くにある大きい岩をその場で割って現地調達したもの。他の熊野古道へ行ってみると、実は石畳のない道がたくさんあるんです。



▲洗い越 (あらいごし)

石畳の途中にわざとくぼみがつくってある。雨の水が川へと流れる通り道。昔の旅人はここでワラジについた土を洗っていたともいわれる。

もし、この石畳が石段だったら昔の旅人も私たちもすぐに歩き疲れていたでしょう。石畳の古道は誰もが自分の歩幅で無理なく歩くことができる、歩きやすさを考えられた道なのです。

自然の恵み。そこへ行く価値がある。

ヒノキの森林浴で元気になる！



▲ヒノキ林

森林には人の体と心を元気にする不思議な力があります。この森林浴効果をもたらす森林の香りの正体を『フィトンチッド』といいます。これは樹木が作りだして発散する物質で、その主な成分である『テルペン』の力が人の心と体を元気にするといわれています。

ヒノキの木はこの『テルペン』が多いといわれているので、ヒノキがたくさんある馬越峠の道を歩くことが、人の心と体を元気にするのにとても効果があるんですよ！

私たちと自然のつながり。

スギの葉っぱって何に使われるの？

スギの木とヒノキの木の見分け方は葉っぱを見ればわかります。それぞれの葉っぱは形、固さが違います。この写真で見ると①がスギの葉で触るとトゲトゲして固い。②がヒノキの葉で触ると柔らかいのが特徴です。



問題

昔、地元の人々はスギの葉っぱを捨てずに利用していました。一体、何に使っていたんだと思う？

答え

スギの葉っぱでお線香の原料をつくってました。昔はスギの葉っぱを乾燥させて水車でトントントントンって叩いて粉にし、その粉を練り固めてお線香にしていた。今でもお墓参りなどに使うお線香の原料はスギの葉っぱの粉なんです。私たちの生活の中で、こんな身近なものに使われているんです。

エコツーリズムとは？

エコツーリズムは、自然環境・歴史・文化などの魅力的な地域資源とのふれあいの機会を観光客に提供することで、地域資源の価値が理解され、その地域の自然環境・歴史・文化などの保護・保全活動につながっていくことを目的としています。

さらに地域も地域資源の価値を再認識し、観光業のサービス向上や地域社会全体が活性化されていくことを目指します。



エコツアー

エコツーリズムの考え方を取り入れた旅を「エコツアー」といい、地域資源の魅力にふれることで、自然の価値やその自然を守る営みが続けられていることを感じることができます。



暮らしとかわる道

尾鷲は林業が盛んな地域で、古道は地元の林業家の人たちが仕事をしに入ってくる道でもあります。馬越峠には、その人たちによって美しく手入れされたヒノキの人工林が続いています。

ヒノキは50年くらいで成長が鈍くなるため、このヒノキは50年～60年くらいの周期で伐採されてきました。

今、ヒノキの木立の中を歩いていますが、10年後には苗木が植えられた明るい馬越峠を歩くことになるかもしれません。

これが今まで江戸時代からずっと繰り返されてきた、この地域の暮らしなのです。

エコツアーガイドサービス

くまの体験企画

自然・歴史・文化を体感していただくために「人と自然との関わり」をテーマにしたエコツアーを行っています。



～大自然が生み出した伝説の地～
吉野熊野国立公園の大自然を体感する秘境ツアー。



～世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道を歩く～
山歩きが苦手な方、体力に自信がない方も大丈夫。



奥深い古道歩きや、長距離を歩きたい方など、目的に合わせてプランニングします。

他にもツアーがいっぱい！
秘境ツアーも行っていきます。
詳しくはHPをご覧ください。

くまの体験企画

〒519-3612 三重県尾鷲市林町9-28

お問い合わせ・お申し込み

専用電話：090-7865-0771

FAX：0597-22-0471

<http://kumanokodo.info>

古道を維持する人

この地域の人たちは熊野古道の馬越峠を価値ある地域資源として大切にしています。

平成16年の水害のときにも、石畳の古道はびくともしなかったといいます。「昔の人がつくった道はすごい。地元の宝だ。」と認識されるようになりました。

ここにはこれからも古道を大切に守っていかうとしている人たちがいます。定期的に草刈りをしないと草はどんどん茂ってくるし、動物に荒らされた道をならしたり、雨で崩れた道はまた人が通れるように保全したりする必要があります。

熊野古道はこのように、人の手によって維持されている景観なのです。



人の心を感じるエコツアー

そこに住む人たちの心を感じてもらうことは、地域と観光客との距離を縮めることにつながります。

内山さんは自然の価値を伝えるインタープリターであり、観光客と地域の人たちとの間に立つインタープリターでもあります。

自然の生態系や美しい景観は当たり前のように存在していると思いがちです。しかし、これらは誰かが守ってきたからこそ、美しく価値あるものとして存在し、これからも大切にしていかなければなりません。

熊野古道エコツアーで、自然の尊さを再発見するとともに、地域の人たちの心や「人と自然のつながり」を感じてみませんか。

エコツアー
のご紹介

エコツアーが体験できる！

名張市

赤目四十八滝

「平成の名水100選」「日本の滝100選」「森林浴の森100選」にも選ばれた赤目四十八滝を散策してみませんか。

お問い合わせ先

NPO法人
赤目四十八滝渓谷保勝会
電話：0595-63-3004
E-mail：
info@akame48taki.jp
ホームページ：
http://www.akame48taki.jp/

伊勢志摩・鳥羽

海島遊民くらぶ

「伊勢海老お料理大学」や「つりざお片手に路地裏お散歩ツアー」など、多彩なツアーメニューを体験できます。

修学旅行生から個人まで、幅広く受け入れています。

お問い合わせ先

かいとうゆうみん
海島遊民くらぶ
電話：0599-28-0001
E-mail：kurage@oz-group.jp
ホームページ：http://oz-group.jp/



指導者養成講座(センター主催)

インタープリター養成講座

10/17(土) 11/3(火・祝)
11/7(土) 11/29(日)

会場 松阪市 嬉野ふるさと会館
多目的ホール

インタープリターって？

体験したり考えたりすることによって、自然などからのメッセージに気づくように導くのが、インタープリターの役割です。

自然の価値を
わかりやすく
伝える！

インタープリター
になりませんか？

お問い合わせ

三重県環境学習
情報センター

詳しくは
8P 講座案内をご覧ください。



がんばって
います!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



木曽岬町ホリデー教室(木曽岬町)

・会員数76名 ・サポーター数6人 ・クラブの構成 地域 ・代表サポーターの水元さんに聞きました。

いつどのようにできたのですか?

木曽岬町ホリデー教室は、20年度よりこどもエコクラブに加入し様々な活動をしています。ペットボトルや牛乳パックなどを再利用する工作やエコ調理などを取り入れ、学びながら子どもの居場所づくりをしています。



ふろしきでリュックサックを作ります。



ペットボトルでランプ作りに挑戦!



何がどのくらい入るかな? ちなみにこれはスイカみだよ。

どのような活動をしていますか?

今年の夏休みは、三重県環境学習情報センターの出前講座で「ふろしき講座」をお願いし、日本の文化とともにゴミを減らす工夫を学びました。50年前、木曽岬町は伊勢湾台風で大きな被害を受けました。そこで、防災や環境にも興味を持ってもらいたいと担当の吉田さんにお話したので、ふろしきでリュックサックの結び方を教えていただきました。

この他にも、いらなくなった紙切れなどを使って、こいのぼりとかぶとを作ったり(4月18日「エコ工作」)、不要になったガラス瓶を使って母の日のプレゼントを作ったり(5月9日「母の日のプレゼント」)、空きペットボトルを使った工作(8月20日「ランプ作り」)などを行いました。

どのようなことを子どもに伝えたいですか?

以前から日本の文化や季節感を伝えたいと企画していますが、こどもエコクラブに加入してから、日本の文化には様々な「もったいない」の文化があり、季節感も環境のひとつだと理解することができました。普段すててしまうものなども工夫によっては楽しいおもちゃに変身したり、すてきなプレゼントに変わったりするといった経験も、“ものを大切にする”という文化の継承につながっているのではないかと思います。

また、エコを前面に出して強制するのではなく、工作や体験活動などを通して楽しむこと、楽しめる内容を創造することなどをいつも心がけています。



日本の文化や季節感を知るために、カルタとりをすることもあります。

こども
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を開始することができます。

入会費・登録費無料 ※詳しくは環境学習情報センターまで



イメージキャラクター「エコまる」



「Mie子どもエコフェア」大盛況でした。

夏休み初日の、7月18～19日に、鈴鹿山麓リサーチパーク全域で開催し、予想を上回る4,200名の方にご来場いただきました。どのブースも盛況で、待ち時間が長くなってしまい、ご来場の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、体験や工作を通じて、環境のことを考えるきっかけにさせていただけたのではないかと考えています。

今回、いろいろな企業や団体、行政など56ブースに出展いただきました。初めて行ったステージイベントや、地産地消・エコ飲食コーナーも充実して大変盛り上がりしました。

来年も、もっともっと環境について学んで実感していただけるようにパワーアップしていきますので、どうぞご期待下さい!



環境活動のPRができる!

今月の企画展示 6～8月

来年2月以降 今月の企画展示 出展募集! 環境学習情報センター/三浦まで



6月 鈴鹿富士ゼロックス株式会社

「ものづくり」にはどうしてもエネルギーが必要ですが、CO₂の削減として、工場壁面の一部にはゴウヤときゅうりを植え、夏の温度上昇を抑えたり、また使用済みの複写機を廃棄物とするのではなく、資源として捉えリユースへ(再利用)。それができないものはリサイクル(もう一度他のものに生まれ変わらせる)業者に引き渡す・・というように「環境にやさしいものづくり」をコンセプトに資源循環型をめざしています。

また、地域との交流も盛んで、毎年出展されている「鈴鹿川流域の環境展」。今年は、「牛乳パックでエコはがき」を作りました。企画展示では、どんぐりを使った工作も展示していただきました。来館者にも「かわいい!」と好評でした。



7月 マックスバリュ中部株式会社

リサイクル資源回収活動・植林活動・お店の中の照明・冷凍ケース等の省エネ・などなどいろいろな環境保全活動を展開されています。

ペットボトルキャップの回収キャンペーンは2008年6月から多気店ではじまり、その9月には近くの小学校にも協力を得て広がり、現在88店舗中77店舗が、この企画に参加しています。企画展示中にもボックスを置いていただき来館者のみなさまにもご協力をいただきました。

また、不要のマイバッグを回収し必要な方に松阪市を通じて配布。これこそまさにリユースですね。環境イベントではマイバッグづくり・環境紙芝居や環境クイズなどでエコをアピール!7月18日・19日の「Mie子どもエコフェア」でも出展いただき、企画展示とのダブルで楽しませていただきました。



8月 三重県環境森林部 自然環境室 森林環境グループ

三重県の土地面積の6割が森林ですが、そのまた6割が人口林です。かつて植えたスギやヒノキが育ち、今や森の中は満員電車状態です。だから、間伐をして光を遮る余分な木を伐採する必要があります。森林は「きれいな水」をくれたり、「空気をきれい」にしてくれたり、「土砂災害」から私たちを守ってくれたりします。でも、ひとたび人の手を入れた人工林においては、天然林と違って間伐などの手入れが必要なのです。

展示では森の働きがどれだけ私たちに関係あるのか、わかりやすくパネル等で説明。

また、NPO法人「海虹路(えこう)」代表の池田さんによる「尾鷲ひのきからできるヒノキシート」を使ったアートフラワーや草履・小物などで、いろどりを添えていただきました。



ようこそ!&訪問しました 7～9月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校		環境学習情報センターが訪問した小・中学校	
四日市	保々小学校(4年)、大谷台小学校(4年)	いなべ	十社小学校(5・6年)
鈴鹿	河曲小学校(4年)	津	大井小学校(5年)、高野尾小学校(1・2年)、大井小学校(1・2年)
いなべ	治田小学校(4年)	亀山	野登小学校(3～6年)
津	桃園小学校(5年)	尾鷲	特別支援学校 東紀州くろしお学園おわせ分校(小・中・高)

講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合	地域NPOの場合	自治体の場合
2～3時間の研修にご利用ください。	メンバーのレベルアップにご利用ください。	市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。
主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。		

講座予定

講座名	開催日	開催場所	申込締切	内容
インタープリター養成講座	10/17(土) 11/3(祝) 11/7(土) 11/29(日)	嬉野ふるさと会館	10/8(木)	自然の価値や仕組み、その意味するところを伝える「インタープリター」の養成講座で、4日間通して1講座です。
スキルアップ講座「飯高の美林に学ぶ～林業を通じて森林の保全を考える～」	11/8(日)	香肌峡温泉 森のホテル「スメール」など	10/23(金)	◇篤林家上尾欽吾氏による森林づくりや林業についてのお話◇上尾山林の見学◇上尾氏所蔵の林業の道具類の見学
生ごみ堆肥化講座(材料費7000円必要)	11/23(祝)28(土) 22年1/16(土) 2/6(土) 3/27(土)	環境学習情報センター	11/6(金)	生ごみ堆肥化について知識と技術を学びます。5日間通して1講座。11/23午前の講義は単独で受講できます。
環境学習リーダー養成講座～アクティビティ体験コース～	12/12(土) 12/19(土)	三重県総合文化センター	11/30(月)	環境学習の参加体験型の活動を体験する「アクティビティ体験コース」と、参加体験型の環境学習を促進する指導者をめざす「ファシリテーター養成コース」の2部構成となっています。
環境学習リーダー養成講座～ファシリテーター養成コース～	22年1/9(土) 1/23(土) 1/30(土)	津市勤労者福祉センター(サン・ワーク津)	12/22(火)	
こども環境講座	12/13(日)	環境学習情報センター	11/29(日)	自然の材料を使ってリースを作ります。主に小学生と保護者が対象。

環境学習情報センターへの
来館、出前講座などで使える

環境講座

学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習にお役立て下さい。各講座ともセンターでの開催、各地に出前での開催が可能です。講座内容につきましては、ご希望に合わせ相談させていただきます。お気軽にご連絡ください。

※原則として、希望日の1か月前までにご連絡ください。出前講座については使用する消耗品のご準備をお願いしています。

環境講座

講座の例	内容	対象
水質チェック教室	パックテストで水のCODを調べます。	小学校中学年以上
大気調査教室	簡易測定カプセルで採集した二酸化窒素の量を調べます。	小学校高学年以上
自然体験教室	自然観察、バードウォッチング、水生生物調査など。	小学校中学年以上
ごみ・リサイクル講座	家庭のできるごみゼロ、3Rの実践。	小学生以上
買い物ゲーム	模擬的な買い物を通じて、ごみを減らす方法を考えます。	小学校中学年以上
風呂敷活用講座	ごみを減らす方法として風呂敷の活用を考えます。	小学校高学年以上
環境を考える消費者講座	グリーン購入を通じた環境への取り組みを考えます。	小学校高学年以上
エコソング「うたおう&おどろう」	地球温暖化防止やリサイクルについて歌と踊りで学びます。	幼児・小学校低学年
地球温暖化防止と省エネルギー	地球温暖化防止と資源枯渇の問題から、省エネルギーの実践を考えます。	小学校高学年以上

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11(地番変更しました。郵便はこちらまで)

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
開館日	1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい

